

氏 名 佐藤 嘉洋

主論文審査の要旨

各種政策立案の基礎となる社会調査のデータは高い品質が期待され、調査データに含まれる誤差の精査・補正法、調査の質の評価法の開発が求められる。この課題に対し、本論文は、災害時調査における無回答による誤差と、交通調査の丸め誤差の 2 つの非標本誤差に着目し、その実態把握、バイアス補正法と質の評価法の開発と適用を行っている。より具体的に災害時の無回答世帯の実態と無回答バイアスの把握について、2016 年熊本地震の益城町の被災世帯を対象に実施された住まいの意向調査を対象に、無回答になりやすい個人・世帯属性を明らかにし、無回答バイアスを考慮しない推計では災害公営住宅の希望世帯数を過大推計すること、無回答バイアスの補正には、欠測データ補完手法が有効であることなどを実証的に明らかにしている。さらに、交通調査の出発時刻の回答値の丸め誤差を分析する既存の方法論を拡張し、丸め回答を定量評価するウィップル指数を改良した指標を提案し、トリップの目的や手段別、都市別、時系列別の丸め誤差の傾向の違いなどを明らかにしている。これらの研究成果は、今後の社会調査の質の向上に寄与することが期待される。

本研究の遂行にあたり、論文提出者は、データ分析・考察などを主導的に実施し、研究内容を十分かつ総合的に理解している。

この研究成果は、本人を第一著者とする論文として、(1) *Transportation Research Record*, Vol. 2674 (10), pp.628-637, 2020, (2) *Transportation Research Procedia*, Vol. 48, pp. 1390–1400, 2020, (3) 土木学会論文集 D3, Vol. 76, No. 2, pp. 128–137, 2020, (4) 都市計画論文集, Vol. 54. No.3, pp.788-794, 2019, (5) 土木学会論文集 D3, Vol.74, No.5, pp. I_201-I_208, 2018, に掲載されている。

この業績（国際学術雑誌 1 編、国内学術雑誌 3 編、国際会議論文誌 1 編）は、社会環境マネジメント教育プログラムにおける学位授与基準（査読付き学術論文誌への筆頭著者論文 2 編以上、うち 1 編は英文であること）を満足している。

以上の理由により、審査委員会は、本論文が学位授与に値するものと判定した。

最終試験の結果の要旨

審査委員会では、本論文提出者に対して、当該論文の内容及び関連分野について試問を行った。その結果、論文提出者は、当該研究分野及び応用領域について高度の理解力と独創的な研究を遂行するに十分な能力を有するものと判断した。以上の結果に基づき、最終試験は合格と判定した。

なお、学位論文のインターネット公表については「要約」とする。これは、現在、学術雑誌への投稿中の内容を含むためである。また、剽窃チェックソフトにより剽窃がないことを確認した。

審査委員	工学専攻社会環境マネジメント教育プログラム	准教授	円山	琢也
審査委員	工学専攻社会環境マネジメント教育プログラム	教授	溝上	章志
審査委員	工学専攻社会環境マネジメント教育プログラム	教授	柿本	竜治
審査委員	工学専攻社会環境マネジメント教育プログラム	准教授	藤見	俊夫
審査委員	工学専攻人間環境計画学教育プログラム	教授	田中	智之